

決算特別委員会での主な質疑事項と意見・要望

第1分科会（総務財政委員会・建築消防委員会所管分）

1 歳入

（質疑事項）

- ・ 償却資産課税の見直しに関する動向
- ・ 地方交付税及び臨時財政対策債の推移
- ・ 市債の借り入れと償還のバランス

（意見・要望）

- ・ 市税の不納欠損額の縮減や、ふるさと納税への働きかけ等、税収増と財源確保の取り組みについて、一層努力されたい。
- ・ 市民の資産を社会で有効に活用するため、寄附文化が根付いていく仕組み等を検討されたい。
- ・ 20年から30年後の将来の社会情勢を見据えた慎重な財政運営に留意されたい。
- ・ 将来負担比率の現状を認識し、改善に向けて努力されたい。

2 一般会計（歳出）

○ 総務費

（質疑事項）

- ・ 職員体制
- ・ 指定金融機関のあり方
- ・ 世界文化遺産国内推薦候補決定
- ・ 公共施設マネジメント
- ・ 門司競輪場跡地の活用
- ・ ギラヴァンツ北九州への支援
- ・ 新球技場建設
- ・ 防犯灯
- ・ 消費者行政の強化

（意見・要望）

- ・ 給与削減問題について、今後の国による地方自治への不当な介入に対する対抗手段を検討されたい。
- ・ 市職員待遇マニュアルのホームページ掲載を検討されたい。
- ・ 未利用市有地の売却促進のため、売却手続の改善を検討されたい。
- ・ 区行政推進事業費の使用用途について、妥当性をチェックされたい。
- ・ 市職員のスキルを地域社会で活用する仕組みを検討されたい。
- ・ 外郭団体について、基本財産の市への返還、財政支出等の見直しを検討されたい。
- ・ 広告事業のスポンサー企業確保のため、企業にとってより魅力的な広告媒体となる工夫を検討されたい。
- ・ ベトナム・ハイフォン市との姉妹都市協定の締結を前向きに検討されたい。
- ・ ギラヴァンツ北九州の観戦率向上への取り組みを、大々的に実施されたい。
- ・ 地域コミュニティ施策について、ソフト及びハードの面から総括し、今後の方向性を検討されたい。
- ・ 自治会加入促進について、強制できる問題ではないが、喫緊の課題として決意をもって取り組まれたい。
- ・ 自治会加入促進に向け、加入メリットのアピール及び加入しやすい環境づくりを

検討されたい。

- ・ 市民センター管理運営について、まちづくり協議会の職員の雇用契約及び業務内容の見直し、雇用契約に係る選択肢の付与を検討されたい。
- ・ 自治会が防犯灯の設置・管理の費用負担を行っていることを、市政だより及び市政テレビ等で周知されたい。
- ・ 防犯灯LED化を促進するため、市全体での単価の調査を実施されたい。

○ 土木費

(質疑事項)

- ・ JR小倉駅新幹線口エリアの活性化事業及びまちづくり
- ・ 市街地再開発事業貸付金の不納欠損

(意見・要望)

- ・ 指定集落住宅許可制度については、関係部署と連携して、もう一步前に踏み出した対策に取り組まれたい。
- ・ 景観アドバイザー制度による効果的な都市景観づくりに努められたい。
- ・ 環境首都総合交通戦略の中間の事業検証の中で、自転車や公共交通の位置づけなど、将来の都市交通全体の仕組みを検討されたい。
- ・ おでかけ交通については、地域住民の利用を促すよう積極的な働きかけに努められたい。
- ・ 牧山・大谷地区でのおでかけ交通については、関係者と引き続きしっかりと協議し、できるだけ早い時期に試験運行を実施されたい。
- ・ コミュニティサイクル事業においては、会員登録数をふやすための周知徹底と、観光客の利用促進に取り組まれたい。
- ・ コミュニティサイクル事業においては、電動と非電動自転車の併用を検討されたい。
- ・ 黒崎芦屋間急行バスについては、試験運行の結果を踏まえて一定の判断をすべきである。
- ・ 若戸大橋ウォーキングをしっかりとPRされたい。
- ・ 関門海峡道路については、必要性と採算性の観点から、緊急に対応せず、時期をしっかりと見極めるべきである。
- ・ JR小倉駅新幹線口エリアについては、地域住民や有識者の意見を聞きながら、地域全体の整備構想を視野に入れて検討されたい。
- ・ 新球技場の整備に対する市民の要望に応えるため、JR小倉駅新幹線口エリア一帯のランドデザインを市民に示されたい。
- ・ 中心市街地の活性化については、平成24年度の結果を踏まえ、今後もハード・ソフトの両面から取り組まれたい。
- ・ 中心市街地活性化の評価のため、単年度目標を設定されたい。
- ・ 中心市街地活性化基本計画については、費用対効果の視点で効果を検証されたい。
- ・ 黒崎周辺の住民と商店街等をつなぐ地域循環バスを検討されたい。
- ・ 折尾地区総合整備事業で買収した事業用地の活用について検討すべきである。

○ 建築行政費

(質疑事項)

- ・ 老朽化した市営住宅の課題解決
- ・ 老朽家屋等除却促進事業の今後の方向性及び基準見直し

(意見・要望)

- ・ 北九州市定住促進支援事業については、関係局との連携を強化し、予算の増額も含めて積極的に取り組まれない。
- ・ 環境未来都市住宅リフォーム等促進事業について、引き続き周知に取り組まれない。
- ・ 市有建築物耐震化推進事業の単年度目標を設定されたい。
- ・ さまざまな事業において、経済的損失の回避やコスト削減のため、非破壊検査を広く活用されたい。
- ・ 市営住宅の収入超過者の退去を促せる手法を研究されたい。
- ・ 来客用の市営住宅駐車場については、団地自治会での借り受けが困難な状況も踏まえて、対応を研究されたい。
- ・ すこやか改善事業や浴槽設置事業の予算については、入居者のニーズに合わせて配分されたい。
- ・ 老朽危険家屋対策の窓口を、早急に明確にされたい。
- ・ 老朽危険家屋対策については、その緊急性を踏まえて取り組みを強化されたい。
- ・ 老朽危険家屋対策においては、国の法整備前から取り組める対応を検討されたい。
- ・ 市営住宅の安全安心のため、老朽化した市営住宅については、建てかえや撤去等を積極的に検討されたい。
- ・ 市営住宅の建てかえにおいては、集約、高層化により、余剰地の有効活用に努められたい。
- ・ 狭あい道路拡幅整備事業を着実に実施されたい。
- ・ 老朽家屋等除却促進事業の対象家屋や建築年数の基準を見直されたい。
- ・ 老朽家屋等除却促進事業を積極的にPRし、執行残が出ないよう制度を周知徹底されたい。
- ・ 老朽危険家屋等の所有者の問題意識を高め、除却を促せるよう、積極的に広報されたい。

○ 消防費

(質疑事項)

- ・ 平成24年の救急搬送の状況
- ・ 地域防災計画の見直し
- ・ 避難所体験・運営訓練
- ・ 竜巻対策

(意見・要望)

- ・ 救急車の適正利用の広報に引き続き取り組まれない。
- ・ 鉦さい線のガス配管の安全対策に引き続き取り組まれない。
- ・ 火災発生後の廃屋については、適宜の巡視や関係局との連携に努め、早急に対処されたい。
- ・ 消防車両の緊急走行時の運転技能向上に努められたい。
- ・ いきいき安心訪問については、体制の強化等を含めて、積極的に取り組まれない。
- ・ 木造市場等防火安全対策モデル事業を通して、効果的な防火対策を推進されたい。
- ・ 消防車横転事故の原因などを肝に命じて、再発防止に取り組まれない。
- ・ 消防車両へのデジタルタコグラフやドライブレコーダー等の装置の設置を検討されたい。
- ・ 訓練研修センターのグラウンド舗装を検討されたい。
- ・ 避難所体験・運営訓練は実施回数が少なく、より一層推進されたい。
- ・ 避難行動から避難所生活まで組み合わせた訓練の実施を検討されたい。

3 駐車場特別会計

(質疑事項)

- ・ 市営駐車場の料金見直し

(意見・要望)

- ・ 便利で、市民が利用しやすい市営駐車場の料金体系を検討されたい。
- ・ 市営駐車場の指定管理者に対しては、次回選定に向け、評価向上のための更なる努力を求められたい。

4 交通事業会計

(質疑事項)

- ・ 公営交通として存続するための決意

(意見・要望)

- ・ 必要な正規職員の採用継続に、引き続き取り組まれない。
- ・ 厳しい経営状況ではあるが、一層努力して、市民へのサービスの継続に取り組まれない。
- ・ 特別支援学校スクールバスの受託に徹底して努められたい。
- ・ 若松北西部路線の見直しの協議に、引き続き取り組まれない。
- ・ 二島での乗り継ぎ問題解消の検討に取り組まれない。
- ・ ベンチの設置基準に合ったバス停の環境整備に努められたい。
- ・ 想定外にも備えて、飲酒運転防止のためのチェック体制を検討されたい。

第2分科会（環境建設委員会・保健病院委員会所管分）

1 一般会計

○ 保健福祉費

（質疑事項）

- ・ 敬老祝金
- ・ 敬老祝金制度の見直し
- ・ 生活保護適正化
- ・ 生活保護行政

（意見・要望）

- ・ 発達障害者サポーター支援事業を前向きに取り組むよう、検討されたい。
- ・ 障害者スポーツセンター アレアスが、本市の障害者スポーツの拠点となるよう、努力されたい。
- ・ 敬老祝金の見直しについて、早めに決断をされたい。なお、敬老祝金を配布している民生委員の負担軽減も考慮されたい。
- ・ 敬老会に市が補助金を出していることを、自治区会に周知されたい。
- ・ HIV抗体検査について、休日等の人が集まる場所での実施を検討されたい。
- ・ 地域ネコの取り組みについて、自治会に対し、積極的にアピールされたい。
- ・ ピロリ菌検査の導入について検討されるとともに、がん検診の受診についても、啓発にしっかり取り組まれたい。
- ・ 生活保護受給者の自立支援と不正受給対策について、更なる体制強化を図られたい。
- ・ 保護費の戻入について、きちんと調査を行われたい。

○ 子ども家庭費

（質疑事項）

- ・ 子どもの館・子育てふれあい交流プラザの障害児利用促進
- ・ 子育て・子ども支援
- ・ 放課後児童クラブ
- ・ 難病対策
- ・ 児童文化科学館の建て替え

（意見・要望）

- ・ 情報格差が子供に生じる事のないよう、本市の施策が、どのような家庭の子供にも、わかりやすく伝わるよう工夫されたい。
- ・ 放課後児童クラブについて、正規の主任指導員の複数配置の検討や、全体的に質が平準化するよう、引き続き改善に努められたい。
- ・ 児童文化科学館は、必要な施設であるため、来年度に調査費をつけられたい。

○ 環境費

（質疑事項）

- ・ 北九州市環境首都検定
- ・ ごみ出しマナーのルール化
- ・ ごみ収集業務の民間委託後の危機管理及び市民サービスを低下させないための対応策
- ・ ごみからの資源回収による収入減の要因

（意見・要望）

- ・ 不法投棄の市民通報員がトラブルに、まきこまれないように対策を検討されたい。
- ・ ていたんを活用して、まち美化活動を推進されたい。
- ・ 環境首都検定で用いられる環境関連の用語は、横文字やアルファベットが、多いことを踏まえ、高齢者にもわかりやすいように工夫されたい。
- ・ 新設する発電所だけでなく、既存の発電所についても化学物質等の排出抑制に努められたい。
- ・ 風洞風力発電について検討されたい。
- ・ 再生可能エネルギーのトップリーダーとして、技術革新等を推進されたい。
- ・ 高齢者や障害者を対象とした家庭ごみの個別収集の実施に向けて検討されたい。
- ・ PCB処理施設や最終処分場のある若松区民が喜ぶ取り組みを市全体で検討されたい。
- ・ ごみステーションを対象にした調査についてしっかり実態把握に努められたい。

○ 土木費

(質疑事項)

- ・ 八幡東区中央町地区と東田地区とを結ぶ歩道橋の設置
- ・ 道路のカラー舗装化の効果
- ・ 到津の森公園の入場者数増加のための広報活動

(意見・要望)

- ・ 建設局として街路樹からの落ち葉には、近隣住民の清掃の負担など、
- ・ 横断的に考えていく課題があることを認識されたい。
- ・ 道路上の工事看板等による地元住民への周知について、工夫されたい。
- ・ 国道199号砂津バイパスの建設に伴う用地買収にあたっては、周辺の住民に対しても、丁寧な説明を実施されたい。
- ・ 門司区や八幡東区の狭あい道路について、改善に努められたい。
- ・ 鉄道会社に関わる工事についての、チェックを強化されたい。
- ・ 自転車通行空間を延長されたい。
- ・ 通学路の危険な箇所について、早急に改善されたい。
- ・ 子供が安心して水辺で遊べる施設を検討されたい。
- ・ 公園遊具が破損等した場合の緊急連絡先について、
- ・ 看板等の設置を検討されたい。
- ・ 洞北緑地のドッグラン施設の、平日の開園について検討されたい。
- ・ 北九州市民球場の整備や、運用にあたっては、一体化を検討されたい。
- ・ 各区まちづくり整備課の機能強化に努められたい。
- ・ 省庁と信頼関係を築き積極的な予算確保に努められたい。

2 国民健康保険特別会計

(質疑事項)

- ・ 繰越金の使途

(意見・要望)

- ・ 本市のモデル世帯の保険料について、更に、加入世帯の状況がわかるものにされたい

3 介護保険特別会計

(質疑事項)

- ・ 介護保険
- ・ 介護支援ボランティア事業

(意見・要望)

- ・ 介護支援ボランティアについて、区によるPR等の取り組みの差から、登録者数にばらつきが出ないよう取り組まれない。
- ・ マインドスポーツが健康マイレージ事業の対象となるよう、検討されたい
- ・ 介護保険について、現在サービスを受けている方が、影響を受けることのないよう、適切に対処されたい。

4 病院事業会計

(質疑事項)

- ・ ヒヤリハット事例の件数

(意見・要望)

- ・ 病院周辺での患者の喫煙に対する対策をより積極的に進められたい。
- ・ 医療現場という特殊性もあるが、医師等の時間外勤務の削減について努力されたい。
- ・ 八幡病院のトイレの段差解消に努められたい。
- ・ ジェネリック医薬品への切り替えについて、努力を続けられたい。
- ・ 今後の病院経営にあたっては、医療行為はもちろん、患者へのきめ細やかな対応においても、他の病院の模範となられたい。

第3分科会（教育水道委員会・経済港湾委員会所管分）

1 一般会計

○ 総務費

（質疑事項）

- ・ 北九州空港開港時の原点を踏まえた将来像

（意見・要望）

- ・ 空港の将来像の実現に向けては、実績をつくりつつ、スピード感を持って、国と交渉しながら進められたい。
- ・ 航空貨物取扱量が増加し、滑走路の延伸がなされるような状況に一刻も早くなるよう努められたい。
- ・ 空港アクセスについては、利用者アンケートを元に改善を進めながら、利用者の増加について長期的な見通しをつけられたい。
- ・ 新規路線就航予定の運航会社へ、就航先の決定経緯について話を聞き、福岡空港と重複しない就航先も検討されたい。
- ・ 将来に向けた北九州空港のあり方について、研究されたい。
- ・ 北九州空港の貨物取扱量増加のため、チラシなどを作成し、市内企業へ営業されたい。
- ・ チャーター便の実績を積み、国際定期路線を開拓するよう取り組みを推進されたい。

○ 労働費

（質疑事項）

- ・ 本市のブラック企業対策

（意見・要望）

- ・ 本市の就職支援策について、若年者や、Uターン就職希望者等への、更なる情報提供を行うとともに、取り組みを充実されたい。
- ・ 若者ワークプラザでのセミナー等に労働法のプログラムを加えるとともに、労働ハンドブックを改訂して、活用されたい。
- ・ 労働行政の市への権限委譲が進まない中でも、労働者のために、市としてできることに、積極的に取り組まれたい。
- ・ 区役所などの身近な場所に、高齢者の雇用相談窓口を設置し、元気な高齢者を生かして雇用創出されたい。
- ・ 国や県と連携し、ブラック企業根絶宣言ができるような取り組みを行われたい。

○ 農林水産業費

（質疑事項）

- ・ イノシシ対策
- ・ 更なる地産地消の推進
- ・ 漁業者の後継者対策

（意見・要望）

- ・ 本市の足元の資源に目を向け、地域主体の元気なまちとなるよう取り組まれたい。
- ・ 市街地におけるイノシシの捕獲のため、行政が間に入って地域の協力を得られたい。
- ・ 有害鳥獣被害対策は、今年度についても、引き続き被害のないよう取り組まれたい。

- ・ 有害鳥獣の計画的な捕獲の方法について検討されたい。
- ・ 地産地消について、生産者やJAとの連携や、契約農家の検討など、学校給食への市内産農産物の供給も含め、推進されたい。
- ・ 風評被害の発生がなく、がれきの処理を終えられたことに対し、対策に尽力された方々へ敬意を表する。
- ・ 山林・山くずれに関する権限について、財源を伴う委譲を県に働きかけられたい。

○ 産業経済費

(質疑事項)

- ・ 新成長戦略の見通し
- ・ 公益財団法人北九州産業学術推進機構への補助金支出
- ・ 外国人観光客のおもてなし

(意見・要望)

- ・ グリーンアジア国際戦略総合特区など、本市独自の減税措置を行っているものについては、市民や議会がチェックできる仕組みをつくられたい。
- ・ 補助金の交付を受ける市内立地企業に対し、更に市民を雇用するように働きかけられたい。
- ・ 買い物弱者対策やコミュニティ活動の場として、地域に貢献する商店街が活気づくよう応援し、今後とも取り組みに力を入れられたい。
- ・ 中国や韓国の情報を収集し、販路拡大支援だけでなく、現地に赴いている人々を守る活動も検討されたい。
- ・ 国際会議の誘致の取り組みを推進されたい。
- ・ 門司港レトロ地区における施策については、一体的に行われたい。
- ・ 門司港レトロ地区の今後の展開として、住める観光地を目指されたい。
- ・ めかり山荘跡地については、港湾空港局とも連携し、状況に応じた対応をされたい。

○ 港湾費

(質疑事項)

- ・ クルーズ客船の誘致

(意見・要望)

- ・ クルーズ客船の中国人乗船客に向けたユニオンペイの対応促進と市内の商業施設のPRを行われたい。
- ・ 過去に就航していた韓国へのフェリーについて、これまでの取り組みを総括し、今後の方向性について検討されたい。
- ・ 旧大連航路上屋における多目的ホールの利用促進と、駐車場等、利用者の利便性向上に対応されたい。
- ・ ムラサキイガイを使用した環境修復体験事業については、つくった堆肥をグリーンカーテンに使用するなど、小学校と連携して取り組まれたい。
- ・ 門司港レトロ地区における門司港ホテルの年明け以降も継続して運営するという強い意志を、市民や現場に発信するとともに、今後の運営に関する状況等について、市議会へも報告されたい。
- ・ 奥洞海地区の航路しゅんせつにおけるダイオキシン類の調査は、十分に行うとともに、安全性を確認し調査結果を公表されたい。
- ・ 響灘東地区処分場整備事業と、洋上風力発電事業の工事時期が重複する可能性があるため、漁業者への影響について配慮されたい。

- ・ 長期的には、大型クルーズ客船が寄港できるよう、ハード面の整備を行われたい。

○ 教育費

(質疑事項)

- ・ 北九州市における体罰問題
- ・ 子ども読書推進
- ・ 本市における小・中学校の太陽光発電整備
- ・ スクールソーシャルワーカー
- ・ 学力アップに向けた政策成果

(意見・要望)

- ・ インターネットを利用したいじめなどの防止に向け、身近な人が把握できる環境づくりに向け取り組まれない。
- ・ ネットトラブルから子供を守るには、裏サイトのみならずSNS等の一般的なサービスの危険性が増しており保護者や教員への啓発及び状況把握を徹底されたい。
- ・ こども文化パスポートの利用促進に向け、現在、連携していない周辺自治体と速やかに連携されたい。
- ・ 進学に関する将来の不安を取り除くためには、奨学金制度をまとめた冊子を作成し、情報提供されたい。
- ・ 教員に対する十分なメンタルケアに取り組まれない。
- ・ 長時間勤務となっている教員が、面接指導を受けられるよう配慮されたい。
- ・ 行き過ぎた指導や感情にとらわれた体罰をなくす取り組みを徹底されたい。
- ・ 体罰がない学校と体罰がない部活動の実現に向けて取り組まれない。
- ・ 教員の資質向上に向けた研修の更なる充実と予算を確保されたい。
- ・ すべての教員が特別支援学級の担任となれるよう資質の向上を図られたい。
- ・ 特別支援教育の個別の教育支援計画は、子どもの権利条約の趣旨を踏まえ、教員研修の強化等により目標の70%に達するよう努力されたい。
- ・ 子供の学習に必要な予算は、執行残が出ないような時期に留保解除されたい。
- ・ 校務支援システムは、地元の企業が参入できるよう取り組まれない。
- ・ スクールヘルパーは校長のしっかりとした指導のもとで活動されたい。
- ・ 子供を多くの大人が見守るという観点から、スクールヘルパーの学校外での活動に取り組まれない。
- ・ 小中一貫・連携教育により多忙感も強まったとの声もあり、現場の意見を聞きながら検証されたい。
- ・ 英語力の強化に当たっては、学力が高いとされる他の政令市を参考に本市独自の仕組みづくりに取り組まれない。
- ・ 全国学力・学習状況調査結果の公表については、全国の状況を把握し、これまでの基本方針を維持されたい。
- ・ 学力向上や子供の生きる力をつけるには、国語力が必要であり読書に関する施策に力を入れられたい。
- ・ 朝の10分間読書は、毎日の実施が大事なので、しっかり取り組まれない。
- ・ 不登校となる理由はいろいろあるが、将来的に未就労者とならないよう取り組まれない。
- ・ 不登校は、性格傾向や発達障害等を考慮し、丁寧に対応されたい。
- ・ 学校が避難場所になることを考慮して、太陽光発電設備に蓄電池を設置し、バックアップ電源としての機能を整備されたい。

- ・ 学校の大規模改修工事や小さな修繕は、安全安心のためにも急ピッチで進められたい。
- ・ 子供たちが安心して体を動かせる環境が重要であり、熱中症対策のためにも校庭の芝生化を推進されたい。
- ・ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの増員を図られたい。
- ・ すべての特別支援学校の図書室を点検し、子供の利用促進につながる整備をされたい。
- ・ 市民に愛され魅力ある戸畑図書館とし整備されたい。

2 中央卸売市場特別会計

(質疑事項)

- ・ 中央卸売市場における取扱状況

(意見・要望)

- ・ 水産物部の地方卸売市場への転換を機に、国の補助金を活用し、加工場及び荷捌き場を、早期に整備されたい。
- ・ 市場の施設整備についての前向きな対応と、新成長戦略に基き、生産と流通全体の振興に取り組まれたり。
- ・ 市場の老朽化対策と今後の地方卸売市場への転換に際し市からも支援されたい。
- ・ 市場開放を行うに当たって、市場のにぎわいづくりのため、来場者アンケートの実施や、市場の愛称、キャラクターについて検討されたい。

3 渡船特別会計

(質疑事項)

- ・ 渡船事業費の内容
- ・ 燃料費の価格変動による運賃への影響

(意見・要望)

- ・ 渡船を有効活用するとともに、若戸渡船を愛する会及び洞海湾クルージングをPRし、市民が楽しめるように努められたい。

4 競輪、競艇特別会計

(質疑事項)

- ・ 競輪事業及び競艇事業の開催収支状況

(意見・要望)

- ・ 好調な競艇事業を支える従事員の勤務実態と、雇用のあり方については、賃金確定交渉などの場において誠意を持って対応されたい。
- ・ 競艇事業からの一般会計への繰出金を、若松区へ還元されたい。

5 港湾整備特別会計

(質疑事項)

- ・ 太刀浦ふ頭用地整備事業

(意見・要望)

- ・ ひびきコンテナターミナルにおける、コンテナ取扱量の目標達成に向けた経営改善と、産業経済局とも連携した企業誘致の取り組みで港湾整備特別会計の収支改善を目指されたい。
- ・ 太刀浦とひびきの二つのコンテナターミナルの連携に取り組まれたり。
- ・ 太刀浦コンテナターミナルにおいては、事故のないよう安全確保をされたい。

- ・今後の公債償還のピークに向けて備えられたい。

6 産業用地整備特別会計

(質疑事項)

- ・空港跡地産業団地に立地した企業

7 空港関連用地整備特別会計

(質疑事項)

- ・空港関連用地における売り払い土地

8 上水道事業会計

(質疑事項)

- ・海外水ビジネスの具体的な取り組み

(意見・要望)

- ・災害時の早急な対応のためにも水道資材の一定量以上を在庫として保有されたい。
- ・児童・生徒への安全でフレッシュな水の供給に向けて、教育委員会と共にアクアフレッシュ事業に取り組みされたい。
- ・海外水ビジネスは受注競争が激しい中で、海外と本市がウイン・ウインの関係となり、投資に見合う貢献をされたい。
- ・本市が保有する世界に誇れる技術の長所を活かして、海外水ビジネス事業に取り組みされたい。
- ・上下水道局として再編されたメリットを活かして活動されたい。
- ・今後も安全安心でおいしい水を供給されるとともに、水の安全性について更なる情報を提供されたい。
- ・水道用水供給事業は、北九州方式と呼ばれるような技術開発に取り組みつつ、更なる経費節減等に努められたい。

9 下水道事業会計

(質疑事項)

- ・雨水整備の達成率

(意見・要望)

- ・内水氾濫対策により雨水処理量が増加する中で、雨水公費・汚水私費の原則を踏まえ雨水処理負担金が適正かどうかを含め、情報を提供されたい。
- ・処理水の再利用は、先進的な取り組み及び研究を推進されたい。
- ・豪雨対策に向けた下水道管等の整備に速やかに取り組まれたい。
- ・豪雨対策は市民生活に支障がないよう早急に達成率100%に向け努力されたい。
- ・雨水調整池の整備等により減災に向け取り組まれたい。
- ・浸水箇所は、広報等を強めてしっかりと対策されたい。